

BFT東京本社フロアを増床 「BFT道場」の新人研修“トレプラ”が 4月よりBFT東京本社にて受講可能に

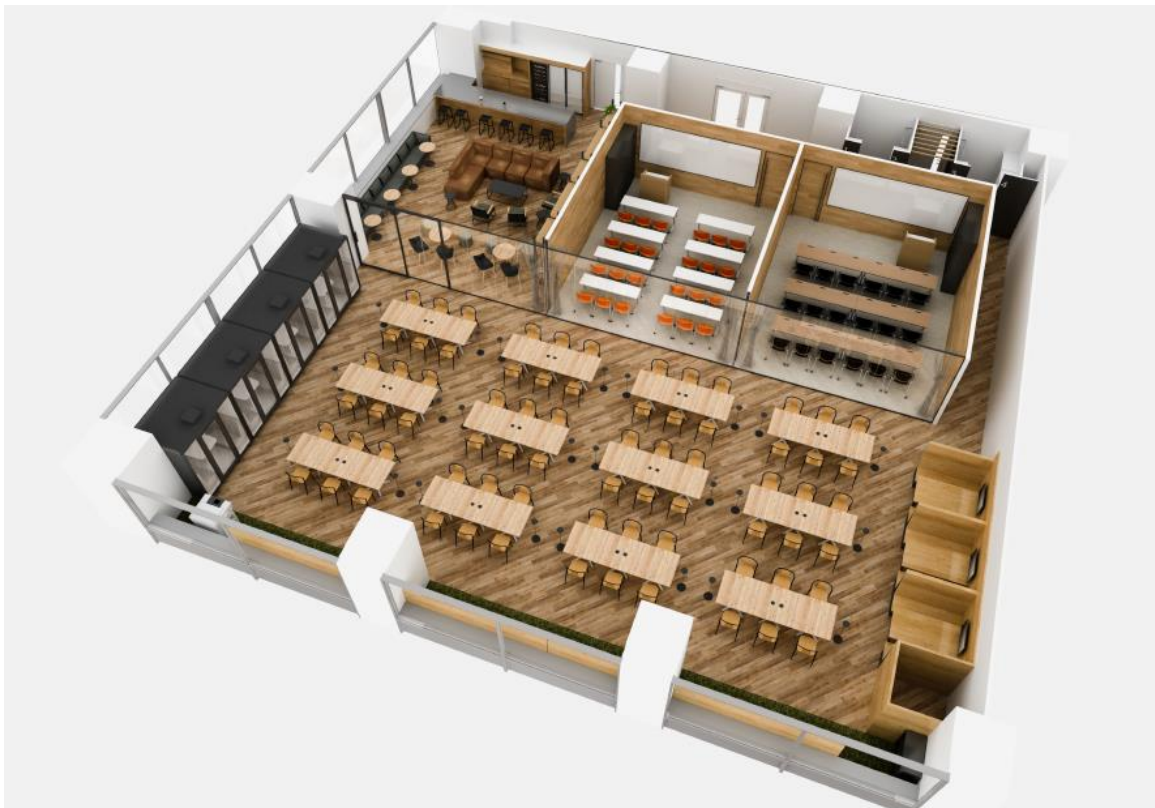
株式会社BFT（東京都千代田区：代表取締役社長 小林 道寛、以下BFT）は、IT教育サービス「BFT道場」の好評に伴い、東京本社オフィスのフロアを増床、新人研修で人気の「BFT道場」トレプラが、4月2日（木）より、BFT東京本社でも受講可能となります。

「BFT道場」は、IT未経験者をインフラエンジニアに育成する教育サービスで、これまでに累計1,000名以上の方に受講頂いております。「BFT道場」には、「トレプラ」、「チョイトレ」、「ギノトレ」と3コースあり、中でも新人や若手社員向けの実践技術研修が「トレプラ」。「トレプラ」は、IT未経験者を2か月で一人前のエンジニアに育成することを目的として作られた実践型の研修です。マンツーマン指導で、本人の理解度を確認しながら、講師が個々のレベルに合わせ丁寧に指導を行うので、着実な知識習得ができます。また、与えられた課題に対してどう考えたのか、というのを講師に伝えるコミュニケーションや日報の作成、メールでのやりとりなど、社会人としてのマナーも学ぶことができる実践的な研修が好評を得ています。

昨今、新人研修を実施する場所が社内になく、外部で研修場所を一時的に借りて集合研修を実施する企業が増加している傾向にあります。研修場所を探せず、お困りの企業も多くあります。実際に、トレプラを導入された企業の方や、ご検討されている企業の方より、オンサイトではなく、「BFT東京本社で研修ができれば嬉しい」、と言うお声を頂いておりました。今回は、そのようなご要望にお応えし、フロアを増床することでBFT東京本社にてトレプラが受講できるようになりました。

是非、この機会に、新人研修にトレプラをご活用ください。

※フロアイメージ図



■「トレプラ」とは

新人や若手社員を対象としたオンサイトトレーニングです。

ITインフラの基礎を学ぶと同時に基本的なビジネススキルも習得することが可能で、未経験者を2か月で一人前のエンジニアに育成することを目的として作られた実践型のIT研修です。一般的な集合型研修やワークショップ形式の研修では理解できてなくても研修は先に進んでしまいますが、トレプラでは本人の理解度を確認しながら、講師がひとりひとりのレベルに合わせて丁寧に指導を行います。そのため、受講後には必ず一定の技術知識を理解することができます。また、研修終了後には受講者の評価レポートで習熟度や受講態度などを把握することができます。

BFT道場のすべての強みを凝縮した教育サービスです。



【BFT道場とは】

2017年1月に提供を開始した教育サービスで、これまでに累計1,000名以上の方に受講していただいております。BFT道場の研修は本当に活躍できるエンジニア育成をコンセプトに、自ら調べて仕事を進めることができる状態まで育成することを目指しています。また、すべての研修コンテンツは実際にBFTがプロジェクトで培ったノウハウを基にコンテンツ開発を行っています。そのため、一つの技術要素を学ぶ研修であっても、実際のシステム構成を前提にしているため、必要な周辺技術についても理解できる内容となっています。さらに講師は現役のSEが担当するため、机上の理論ではなく生きた知識を学習できます。

「BFT道場」3つのコース

- ・ **トレプラ** 新卒・若手社員向け、実践技術研修
マンツーマン指導で着実な知識習得
- ・ **ギノトレ** トレンド技術を習得
ハンズオン形式で丸1日で技術習得
- ・ **チョイトレ** 多様なコースから選択できて定額制
スクール形式で3時間のトレーニング



【会社概要】

社名 株式会社BFT
設立年月日 2002年4月4日
資本金 9,990万円
代表取締役 小林 道寛 (Kobayashi Michihiro)
従業員数 380名 (2019年4月時点)
住所 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-5 丸の内北口ビルディング22階
公式HP <http://www.bfts.co.jp/>



BFTは「人とシステムをつくる会社」です。

システムづくりに加え、システムにかかわる人材の育成にも力を注ぎ、さらに豊かな社会の実現を目指しています。

- (1) インフラ基盤構築 サーバ環境構築・ネットワーク環境構築・クラウド環境構築
- (2) システム開発 オープン系システム開発
- (3) 教育サービス 「BFT道場」 トレブラ・ギノトレ・チョイトレ